

(別紙4(2))

事業所名: ゆうあいホーム今里

作成日: 令和 7 年 3 月 3 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1		身体拘束適正化委員会のメンバーは揃っているものの、定期的な委員会の開催が確認できなかった。身体拘束適正化委員会の定期的(3か月毎)な開催が求められ、今後、運営推進会議と連携するなどして委員会の定期的な開催を行う仕組みを整備することが望まれる。	s身体拘束適正化委員会を3か月毎に開催し、その記録を文章にまとめる。	①次回、6月ごろの開催を計画する。 ②そのメンバーを決める。 ③その記録をまとめ、次の開催日を決める。	12ヶ月
2		入居時における重要事項として第三者評価の受審状況を家族等へ説明することが求められており、今後、重要事項説明書において第三者評価の受審状況が分かるように、第三者評価実施の有無、評価実施日、評価機関名、評価結果の開示状況を記載することが望まれる。また、外部評価を通じて家族に対しアンケート調査を実施し、家族の意見等を汲み取る機会となる旨を説明し協力を求めることを期待する。	重要事項説明書に、外部評価受審状況の有無、評価実施日、評価機関名、評価結果の開示を記載する。また、その時家族のアンケートの件も実施する。	①本部へ報告する。 ②重要事項説明書に、外部評価の受審状況の有無、評価実施日、評価結果の開示の記載、また、その時、家族へアンケートを行っていることを記載する。	3ヶ月
3		今後、BCP(業務継続計画)の早期作成とBCPの研修や訓練(シミュレーション)を行っていくことが望まれ、更に、地域との連携を深め、研修や訓練を継続的に行うことで、より効果的な防災体制を構築することに期待する	年2回の消防訓練時や月1回の全体会後の研修の中で、BCPに関するシュミレーションや業務継続計画の早期作成をめざす。	①BCP(業務継続計画)の早期作成をめざす。 ②年2回の消防訓練時や月1回の全体会後の研修の中で、BCPの研修や訓練(シュミレーション)を行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。